

# 一華寺報

私たちはどこからきてどこへ行くのか

8月1日(土曜日)

発行所 一華寺  
 発行責任 一華寺 DTP部  
 〒737-0811 呉市西中央5-7-1  
 編集 和尚  
 一華寺報アドレス  
<http://www.ikkeji.jp>

あたらしい取り組みをこれからも

香川寛光和尚が遷化(亡くなる)されて今年の夏で十回忌となります。十年で世界は世間も世相も驚くほど変わりました。お寺はいつも時代を通じて檀信徒様方のよりどころとなるよう変わり続けてきました。これからもう少しずつ進化を続けてゆきたいと考えておりま

す。インターネットへの取り組みもありません。在宅のつれづれにネットでの情報もご利用ください。



## 永代供養

無尽塔・澄霊塔による永代供養を募集しています。生前申し込みもしておりますのでご先祖様の集まる場所、自分たちの将来の居場所としての安心をお寺にお任せください。

志納金は30万円からですが、和尚さんとお話をしてお布施額を決めていただくシステムです。見学がてら事情やよまやまの話をお寺にご相談ください。



## 亡くなった人と話そう

### 現世来世をつなぐ憩いの場所へ

いま三蜜を避ける風潮にある中で観光寺院ではない場所にもスポットライトがあてられている。

■来山(寺に来ること)者がまずするの観音様へのお参り。澄霊塔内にて掲示されているお参りの仕方を参考に三分ほど心を落ち着かせよう。

■ご先祖様は観音様にお預けして修行中の身です。対する私たちがしっかりと生きていくかの報告をするのが良いでしょう。ち

様たちのいのちの輝きの片りんともいえるでしょう。



境内の風致は檀信徒さんのお裾分けの草木

近頃道行く人たちの年齢がわからないことが多い。そここの歳なのに振る舞いが傍若無人であったり、背筋真っすぐシャカリキ見た目も七十代の九十九歳など。つまりどれだけ長く生き延びたかよりもどのような生き様をしてそれがにじみ出ているか、他人からはよく見えるものです。

和尚さん的には観音様の弟子たるもの、心身の美しさに重きを置きたいの思い。なぜならば観音様には人相規定が少なく、仏師絵師自身が最も美しいという姿で体現されるからです。



荻野美佐先生と楽しむヨガ

長生きヨガ・・・体の健康に適したストレッチをはじめ、様々な部位を無理なくほぐす教室が一華寺で行われています。和尚さんがスカウトした専門講師が素晴らしい指導をしてくださいます。



## 心身の健康維持は長寿の秘訣

### 実年齢なんかには負けない



磨き上げようという試みですから、心と体の病に広く適応のあるものです。近くにいる観音様・ご先祖様・自分の三者(サンガ)の修行(美しい心身)を気にかけて生きるだけで自然と周りにもすがすがしい空気を作り出すことができるのです。



皆さんに会えるのをお待ちしております

写経会・・・心を整える座禅と同じ効果のある写経をお寺という空気を感しながら各人のペースで行っています。写経中に境内を散策したり縁側に座つてうとうとしてみたり、あなただけの時間を過ごしてみてください。写仏もありませんし、初めてのの方は筆ペンの用意もありますので手ぶらでも大丈夫です。和尚さんの講話と禅寺の作法にのっとった精進料理も楽しみます。(令和二年いつぱいはコロナを勘案して食事と講話はありませぬのであしからず)

## 新人さん

### チャボのひな



なんとお寺のチャボが八羽に増えました。また掌のサイズですがこれからぐんぐん大きくなることでしょう。出自は・・・

・インターネットで購入した有精卵です。お母さんたちが一生懸命おなかの下で、三週間も餌をほとんど食べずにずっと温めて孵化させてくれました。チャボは実は日本の天然記念物に指定されており、江戸時代より愛玩用としてきれいな柄の品種がたくさんあります。一華寺にもいろいろな品種がいまさらどうぞ会いに来てください。(いつも仲良し)